



連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智

例年通りバタバタとした中で新年度を迎えたのですが、2ヶ月ほど経過すると学会大会（以下学会）のシーズンになります。私は日本精神神経学会に所属して学会認定の専門医と指導医を有しており、この資格を維持するためにも学会へ参加して必要単位を取得する必要があります。勉強することが苦手な私にはちょっと敷居の高いイベントではありますが、人生半世紀を過ぎると改まって仕事上の何かを教わる機会はなかなかありません。

今回新潟市で開催された学会では、疾患の各論や社会的に問題あるいは課題となっていることを取り上げたシンポジウムが多数用意されており、個人的に興味を引くものを中心に色々な話を聞くことができました。認知症関連、薬物療法と自動車運転について、国際的な観点による引きこもりの解釈と対応、身体拘束について、発達障害の強度行動障害について等々、その分野の最先端で活躍する人たちの口演とディスカッションを目の当たりにすることで、自分自身の知識や考え方をしっかりと整理することができました。

特に今年度は行動制限最小化委員会の委員長を任されているため、私が講師を務める院内研修会では学会で得られた情報を皆さんにお伝えしました。

来年度は学会全体の様子をカメラに収め、皆さんに報告する機会を作りたいと思っています。

表紙写真

写真タイトル：「若鳥」 撮影者： 降幡 国保

りんごの木の洞から巣立ったフクロウを撮影しました。巣立ちから1ヶ月ほどの間は、巣の周りからあまり離れず、きょうだいで身を寄せ合うように暮らしています。

4月 お花見

毎年恒例のお花見レクが今年も行われました。

1-1病棟では午前中にお花見散歩をし、午後は壁画作りをしました。女性患者さん数名でお茶を入れ、桜のおやつと共に楽しいひとときを過ごしました。

1-3病棟・2-2病棟・2-3病棟は午前中のお花見散歩後、午後は体育館にてカラオケ大会が行われました。「看護長の歌声が良かった」「にぎやかで良かった」と参加した患者さんより嬉しい感想もいただきました。



各病棟では、「桃色のクラッシュゼリーとサイダーで作ったゼリードリンク」や「桜アイス」に「フルーチェ」と、それぞれ桜をイメージしたおやつ作りが大好評でした。

今年は桜が満開で見ごろのちょうど良いタイミングで、患者さんも職員もお花見を楽しめました。



OTプログラム 外出グループ



OTプログラムとして月1回、少人数のグループで三郷図書館へ出かけています。

各病棟より数名の患者さんが参加してグループを構成し、病院の公用車でドライブを楽しみながら外出しています。

このプログラムは、誰でも利用できる公共施設の図書館へ出かけることで、退院後の生活をイメージすることができたり、読書をする事で気分転換や趣味を持てたりと、退院への意欲向上にもつながっています。

参加した患者さんの中には、図書館の利用者登録をして実際に本を借りる体験をしている患者さんもいます。図書館グループの患者さんはどのメンバーも月1回の活動を楽しみにしています。

今後も継続して外出のプログラムを企画し行っていくことで、療養生活中的の良い刺激になればと感じています。



文化祭

今年度最初の病院行事として、令和元年6月19日（水）に体育館にて文化祭が行われました。文化祭の内容は作品展ブースと喫茶コーナーでした。

～作品展～ 作業療法の活動中に作った作品を展示し、普段の頑張りを他の患者さんや職員に見てもらいました。

作品は、各病棟の患者さんが共同で作っている毎月の季節のカレンダーや壁画、個人で作っているバッグやぬいぐるみなどの裁縫、絵画、塗り絵、書道、ジグソーパズル、漫画、スキルギャラリー等、様々なものがあります。

患者さんからは、作品を称賛したり、次はこれを作ってみたいといった意見も聞かれました。また、病棟の職員からの称賛などにより、今後の活動への意欲にもつながり、良い刺激にもなったようです。

また、職員からも作品を募集し、ハワイアンキルトやバッグ、書道や衣装なども展示されました。普段は見ることのない職員の作品に興味を示す患者さんも多く、じっくりと作品を見ていました。



事務とソーシャルワーカー共同でのクイズ展示もあり、「赤ちゃんの写真がかわかった」「写真当てクイズが楽しかった」と患者さんからも好評でした。



～喫茶コーナー～



どの食事形態の患者さんでもおいしく食べることができるよう、クラッシュコーヒーゼリーを提供しました。患者さん同士でおしゃべりをしながら楽しまれている様子でした。

患者さんからは、「コーヒーゼリーが冷たくておいしかった」「おかわりしたかった」との声も聞かれ、大好評でした。



永年勤続者表彰

令和元年6月18日（火）のばらの日、永年勤続表彰が行われました。当院では、勤続30年2名、25年2名、15年4名、10年8名、5年4名の計21名が表彰され、記念品が贈呈されました。



防火防災訓練

令和元年5月15日（水）に防火防災訓練が行われました。

今回は昼間の火災を想定し、いかに素早く現場に対応し、安全に避難を完了するか、職員同士の連携も重視しての訓練でした。訓練後は消火設備の取り扱いについて、新入職員を中心に練習を行いました。当院では保守保安委員会を中心として、火災・災害に適切に対応できるように、準備・研鑽が行われています。



病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 地域への貢献
2. 医療安全・サービスの質の向上
3. 職場の環境づくり
4. 医療介護福祉の連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟200床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されることなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私達は治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103

長野県安曇野市三郷小倉6086-2

TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団

ミサトピア小倉病院

編集後記

年号が平成から令和となった今年、当安曇野日和の編集長も交代となりました。今後の当紙については、今まで積み上げてきた形を継承しつつ、より内容を充実させていく事を目指したいと考えています。また、広報委員会は常に院内外の出来事に関心を持って活動を進めていきたいと考えています。